

平成30年度事業と

収入支出予算

一般
勘定

40億4,550万円

介護
勘定

3億4,331万円

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合の平成30年度事業と収入支出予算が(一般・介護)去る2月23日(金)開催された第80回組合会において、審議決定されました。

経済状況も穏やかな回復基調が続いているなか、当健保組合の保険料収入は被保険者の増加から若干は伸びているものの、高齢者への納付金・支援金等の高負担、年々増え続ける医療費により、平成30年度の保険料率(一般)を9.8%に据え置くこととなりました。

この保険料収入の基礎となる年間被保険者数は9,400人、平均標準報酬月額は313,224円、賞与は平均2ヵ月で年間保険料は収入全体の98.2%となります。

主な支出では、皆さんが病院等にかかった時に支払われる医療費や出産育児一時金、傷病手当金等の保険給付費として19億1,015万円を計上、支出全体の47.2%となっており、高齢者医療制度に係る後期高齢者支援金や前期高齢者納付金等は、16億8,986万円で実に41.7%を占めております。

疾病予防を中心とした保健事業費には、特定健診を含む人間ドックや生活習慣病予防健診、その後の特定保健指導の他、乳がん・子宮がん検診、VDT検診、インフルエンザ予防接種の補助等、第2期データヘルス計画及び第3期特定健診等実施計画により、1億8,743万円を計上しました。

介護勘定につきましては、当健保組合が負担する介護納付金は3億4,221万円となり、介護保険料の他前年度繰越金等を繰り入れ、平成30年度の介護保険料率は0.02%引き下げ1.56%といたしました。

第80回組合会

・開催日 平成30年2月23日(金) 10時30分～

・出席議員 17名

・開催場所 JRタワーホテル日航札幌 36階「つき」

・関係者 2名

審議事項

- 1 平成29年度介護収入支出追加予算(案)について
- 2 平成30年度一般及び調整保険料率(案)について
- 3 平成30年度介護保険料率(案)について
- 4 平成30年度事業及び収入支出予算(案)について
第2期データヘルス計画について
第3期特定健康診査等実施計画について

- 5 平成30年度支出予算同一款内の項間の流用について
- 6 理事長専決事項について
- 7 組合規約の一部変更について
- 8 その他

●議案1から8まで原案どおり承認されました。

